

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	自主防災組織等育成事業	会計名称	一般会計		担当課	危機管理課	
		予算科目	2 款 1 項 13 目	事業番号	482	所属長名	新田亮仙
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	丸本竜士	
法令根拠等	自主防災組織活動支援補助金、伊予市地域防災計画				実施期間	【開始】	平成 17 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 安全・安心に暮らせる災害に強いまちづくり					【終了】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	防災意識の向上対策の推進						
事業の対象	自主防災組織	事業の目的		自主防災組織の自主性・自立性を育むことを目的に、各自主防災会の活動を支援するとともに自主防災会連絡協議会の事業を通じて啓発に向けた事業展開を行う。			
事業の内容 (整備内容)	市内に65組織ある自主防災会において全ての自主防災会で地域防災に繋がる訓練等を実施できるよう啓発・育成を行う。		昨年度の課題に対する具体的な改善策		地区で開催される防災学習会に、要請に応じた内容を用意し積極的に対応するとともに、地区の防災士が啓発する機会を持つよう求めたことにより、活動が活性化するとともに自己研鑽の意識も向上した。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	29 年度実績	30 年度予定	9月末の実績	30 年度実績	
直接事業費	1,328	1,777	0	0	0	1,554	自主防災組織活動補助	件	16	16	11	20	
財源内訳						0							
国庫支出金		0	0	0	0	0							
県支出金		0	0	0	0	0							
地方債		0	0	0	0	0							
その他		0	0	0	0	0	自主防災会事業	件	18	18	3	8	
一般財源	1,328	1,777	0	0	0	1,554							
職員の人工 (にんく) 数	0.23	0.16				0.23	防災士資格取得者	人	13	15	0	17	
1人工当たりの人件費単価	8,017	7,982				7,982							
※ 直接事業費+人件費	3,172	3,054				3,390							
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		自主防災再組織に対して活動経費の一部を補助								
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	5年間の合計			
					5,000	5,000	5,000	5,000		20,000			
成果指標	指標	活動事業費補助金交付申請団体数/団体総数×100			単位	区分年度	29 年度	30 年度	31 年度	目標 毎 年度			
					%		目標	40	40				
	指標設定の考え方	活動事業費補助金交付申請団体数の割合が上昇することで、自主防災組織の活動の活性化が測定できる。				⇒	実績	25	30				
		指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		岩手県陸前高田市の自主防災会長を講師にお招きし、避難所運営について講演をいただき、自助共助のと事前の備えの重要性を共有した。引き続き女性防災士の育成に努めると共に、地域防災のけん引役となり得る防災士の育成にも力を入れる必要がある。									
事務事業の事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	被災地から講師を招き自助共助と事前対策の重要性を共有できた。また、防災士の水害に対する知識及び技能習得を目的とした実技研修では、平成30年7月豪雨災害資料を基に解説を実施し、水災害を想像した上で資機材取扱訓練を実施することができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A				
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多々である。	3						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	事業の苦勞した点・課題	防災士の熟練度が高まりつつある中、ひろく全般的な研修を行ってきたが、今後は特定の立場にある防災士が意見を交わし共有することで、地域で更に活躍できる人材の育成が求められつつあることを感じた。			
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	5	合計点が			S	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 災害に対する自助・共助の意識の醸成や態勢の整備は自主防災会や防災士の活躍によるところが大きい。自主防災会には自立的で自主的な活動展開を期待するものの、団体間の格差が著しく、組織の育成に向けた行政からの働きかけが引き続き必要と認めるもの。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	5						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の積極的に関与・実施すべき事業である。	5						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4	合計点が	A					
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3	合計点が	A	所属長の課題認識	自主防災会を牽引し地域防災力の向上を担う防災士の認知度を高めるために防災士の活躍の場を創出するとともに防災士のスキルアップを引き続き図っていく。地域のコミュニティ力の減退は直接自主防災会の活動に影響を及ぼすので、自主防災活動を通じたコミュニティの強化にも配慮する。				
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。	4								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域によっては熱心に訓練もするところもあるが、備蓄品の購入だけで済ませているところもあると聞く。 ・防災は総合力だと思う。繰り返しの訓練のほか、民間団体等とも協力関係を日頃から築く必要がある。 ・気になるのは、活発でない地域だ。そういうところに自主的に言っても難しいところがある。災害はコミュニティが弱いところを避けてはくれないので、何かしら関わる必要があるのではないか。 ・自主防災会、防災士の活動を知ってもらうための広報をしてはどうか。活発でない地域へ投げかける意味でも良いと思う。
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を行う。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を行う。	コメント欄 住民自ら命を守るという意識の醸成等を総合的に考えていく必要がある。さらに、自助、共助及び情報発信の強化を図ること。